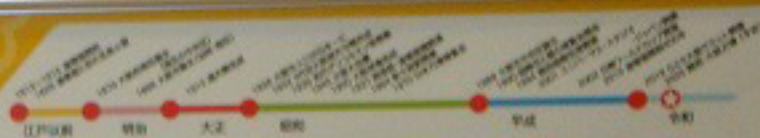


千日前・法善寺

最寄駅： 京セラカスト口 各線 女人坂駅・日本橋駅
近鉄電車 大原駅まで 日本橋駅 / 阪神電車 大原駅まで / 南海電車 女人坂駅



法善寺の西の門(千日前側)

「千日寺の門前町」から「千日前」へ

この辺りにあった「法善寺」と「竹林寺」を「千日寺」とよび、その門前の通りを「千日前」とよぶようになったといわれています。

もとは寺領や墓地、町場が混在した場所でしたが、明治に町場が興止、墓地が移転され、すぐ隣の道頓堀の幅が広がって、繁華街ができました。

明治時代に阪神鉄道(現在の南海電気)舞洲駅が開業すると、芝居小屋や映画館が立ち並び一気に発展しました。

その後明治45(1912)年に「南の大火」に見舞われるも、損害保険ができるなどでミナミ屋敷の繁華街となりました。この大災をきっかけにつくられたのが、今では上空を阪神高速道路が覆う千日前通りです。延焼を防ぐための火除け地の確保と、赤電軌道建設のために建設されました。



● ミナミ千日前(商店街)
商店街と大型商業施設でにぎわうミナミ千日前商店街。



● 千日前商店街
周縁のある五層楼のエントランスをくれば、マスケットキャラクター「あにゃん」がお出迎え。



● 千日前通員屋敷商店街
法善寺の千日前からの「参道」にあって古道具屋や雑貨店が軒を連ねるのが「通員屋敷」の賑わいです。



● 楽天地
大正3(1914)年に完成した楽天地は、建築の劇場とメリーゴーランド、ローラースケート場、水泳館、展望台などを備えた総合娯楽センターでした。



● 道頓堀と千日前の交差点
写真は上が明で楽天地が見えます。「大東市史記(近世中写真帖)」より(昭和4(1929)年発行)



● 千日前通員屋敷商店街
アーケード完成前の商店街の風景。アーケードは(昭和45(1970)年に完成し、全长150mの現在の姿になりました。



コラム

千日前通員屋敷は「モノからコト」に進化しています。もともと千日前通員屋敷は、千日前から西天王寺や今宮戎神社への参道にあたり、古道具屋が立ち並んでいた。明治15(1882)年に「通員屋敷」という名前がついたようです。大正時代から仕事に使う道具の専門店街に変わりはじめ、道具のレンタル業(賃貸し)を営む店も出現しました。昭和の頃には飲食店の道具を売る店が目立つようになり、現在の通員屋敷の姿へとつながります。最近では、食品サンプル製作体験やガラスアート体験ができる店もあり、通員屋敷は進化し続けています。



※掲載の地図は、大東市観光協会が作成したもので、大東市観光協会の許可なく複製・転載を禁じます。また、本誌に掲載の地図は、大東市観光協会が作成したもので、大東市観光協会の許可なく複製・転載を禁じます。また、本誌に掲載の地図は、大東市観光協会が作成したもので、大東市観光協会の許可なく複製・転載を禁じます。

大東市中央区役所 関
中央区魅力発信 / いま、むかし、にぎわいでん!

ほかにも沢山の情報を掲載した「むかしむかし」をご覧ください
QRコード